

Thing of the operation

～稼働する事～

現在、私達と同じ時系列には「実用具」としての甲冑は存在せず、在るのは「文化財」としての姿のみである。

確かに、日常にはメディアやイベントを通しての甲冑姿が氾濫するが、その用途は「実用」と言うよりはアンリアルな侍達の疑似体験用コスチュームのそれに近い。

博物館に、寺社仏閣に、サムライ無き後に遺されたリアルとしての甲冑はガラス越しに展示され、稼働としてのエレメントを封じられている。

しかし反意的に見れば、現状では文化財としての重責を担う甲冑も、稼働を前提に作られている以上、構造的には現代の私達でも着用が可能な筈である。

ならばそのリアルな甲冑を文化財としての役割から一時的に解放し、稼働としてのシステムを復旧するべく、時系列を同じくする私達の手によって人型を内包する新たな可能性を実験的に摸索してみよう。



某所蔵 色々威腹巻